



平成 24 年 11 月 10 日

各 位

会社名 株式会社 マルマエ
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一
(コード番号: 6264 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理部長 藤山 敏久
(TEL. 0996-64-2900)

平成 24 年 10 月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、この一環として、下記のとおり当期平成 24 年 10 月度月次受注残高情報を開示いたします。

記

1. 月次受注残高

(百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
F P D分野	248	84.8%	52.5%	118.2%
半導体分野	31	10.6%	21.2%	△32.7%
その他	13	4.6%	12.1%	451.0%
合計	293	100.0%	46.1%	80.4%

2. 月次受注残高の推移

(百万円未満切捨て)

区分	H23. 11 月	12 月	H24. 1 月	2 月	3 月	4 月
F P D分野	71	51	44	16	26	41
半導体分野	35	35	31	39	34	26
その他	2	5	45	51	48	48
合計	109	92	123	107	109	116

区分	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
F P D分野	53	41	44	87	162	248
半導体分野	31	26	36	25	25	31
その他	34	35	25	14	12	13
合計	119	103	106	126	200	293

3. 月次受注残高の概況

平成24年10月末の受注残高は、FPD分野においてスマートフォンやタブレット型PCに関連する受注が大幅に伸長し、対前月増減率で52.5%増、対前年同月増減率では118.2%増の248百万円となりました。半導体分野においては、受注及び出荷検収が堅調に推移したため、対前月増減率で21.2%増、対前年同月増減率では32.7%減の31百万円となりました。一方、太陽電池分野を含むその他分野においてはの受注に大きな動きは無く、対前月増減率12.1%増、対前年同月増減率では451.0%増の13百万円となりました。これらの結果、平成24年10月末の受注残高は、対前月増減率46.1%増、対前年同月増減率80.4%増の293百万円となりました。

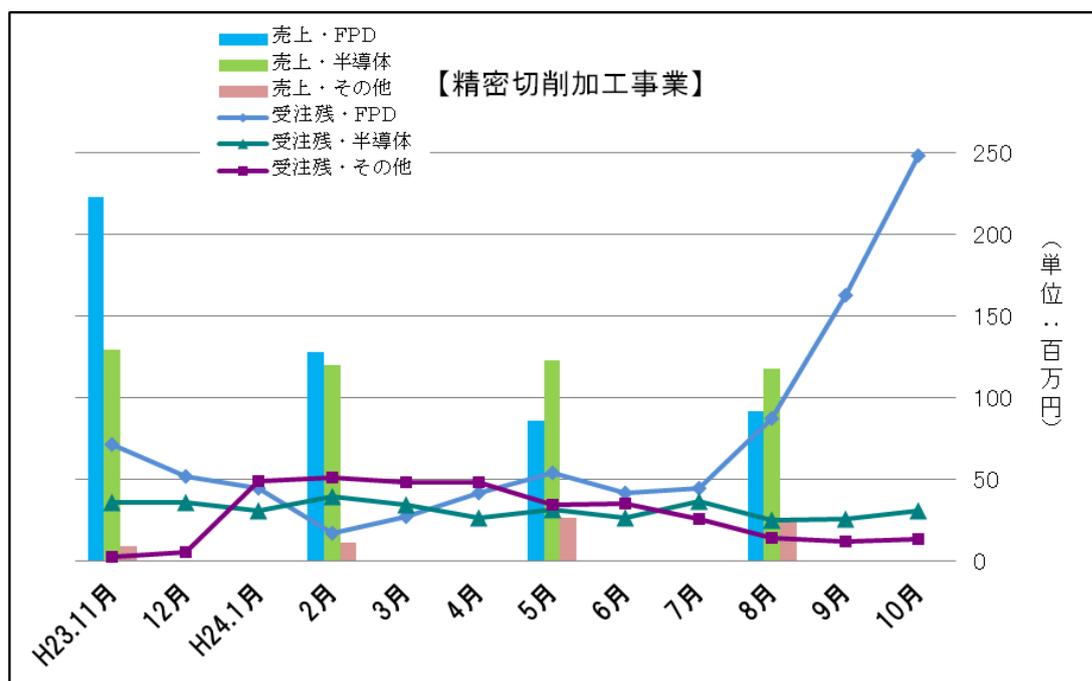
今後の見通しといたしまして、FPD分野においては、数ヶ月分の売上となる受注を計上したことの反動で、受注残高としては減少する見通しです。半導体分野においては、市況が非常に厳しい状況ではありますが、品種拡大を行うなど顧客内シェアが拡大していることから、横ばいから多少の増加傾向が出始める見通しを持っております。また、その他分野では、新規分野への営業活動を行いながらも社内生産余力が乏しい事から受注を抑制し受注残高も横ばいとなる見通しを持っております。

全般的には、半導体市場が非常に厳しい中で、スマートフォンなどの中小型液晶製造装置の活況に対し、独自技術による低コストを武器に積極的な取り組みを進めております。また、協力企業との取引拡大など生産流動化を進め、市場環境変動に影響されにくい構造改革に取り組んでおります。

なお、本年度より太陽電池分野の受注残高につきましては重要性が低下したことから、当面は、その他分野にまとめて開示する事としております。

以上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短いか当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。